

実践報告会

～切れ目のない支援の実現への取り組み～

特別区では、子どもと家庭のさまざまな問題に対応するため、各区が特徴を活かした相談支援体制を作っています。令和5年3月には合計7区が運営している区児童相談所、子ども家庭支援センター、保健所・保健センター、教育相談機関、若者支援部署、東京都児童相談所は、どのように各機能をいかし連携しているのでしょうか。より迅速に、丁寧に、当事者中心の切れ目のない支援の実現のために、どのような工夫をしているのでしょうか。

本研修では、全く体制の異なる3区に、相談通告の受け方、調査と支援における連携、相談終了の3つの観点から実践報告をしていただきます。その後、講師とともに研修生が意見交換を行い、互いに学ぶべき点や今後に向けた課題などを探っていきます。ぜひ積極的にご参加ください。

日 程 令和5年 **3月9日(木)** 13:30～17:00

場 所 特別区職員研修所(東京区政会館別館)(千代田区九段北1-1-4)

対 象 児童相談所職員、その他子ども家庭福祉行政に携わる職員【定員72名】

ねらい 児童相談行政において求められる各行政ニーズ・課題に応じたカリキュラムを通じ、児童相談所職員に求められる幅広い専門性の強化を図る。

カリキュラム

3月	時間	教科目	講師(敬称略)
9日 (木)	13:30 ～ 17:00	切れ目のない支援の実現に 向けた各区の取組み (講義・報告)	明星大学 人文学部 福祉実践学科 常勤教授 川松 亮
			港区児童相談所 児童相談課 児童福祉係 職員 中野区児童相談所 職員
			足立区 子ども家庭部 こども家庭支援課 家庭支援第2係 職員
計	0.5日間(3.5時間)		

【問合せ先】 特別区職員研修所 教務第2課 児童相談研修係
(TEL:03-6261-1578)